

# 別表ロ 再生資源利用促進計画書 - 建設副産物搬出工事用 -

1. 工事概要 表面に必ずご記入下さい

建築工事において、解体と新築工事を一体的に施工する場合は、解体分と新築分の数量を区分し、それぞれ別に様式を作成して下さい。

裏面

## 2. 建設副産物搬出計画

現場内利用の欄には、発生量(掘削等)のうち、現場内で利用したのについて御記入ください。

コード14(コード13で7内陸処分場を選択した場合のみ記入)

1.山砂利等採取跡地 2.処分場の覆土 3.池沼等の水面埋立 4.谷地埋立 5.農地受入 6.その他

建設副産物の種類	発生量 (掘削等) = + + トン	現場内利用・減量				現場外搬出について											再生資源利用 促進率 + + + (%)
		現場内利用		減量化		搬出先名称			搬出先場所			現場外搬出量		再生資源 利用促進量 (注2)			
		用途 コード*10	利用量	減量法 コード*11	減量化量	3ヶ所まで記入できます。4ヶ所以上にわたる時は、用紙を換えて下さい。	区分 どちらかに 付けて下さい	施工条件の 内容 コード*12	住所コード *4	運搬距離 千 百 十 一 km	搬出先 の種類 コード*13	受入地 の用途 コード*14	現場外搬出量		うち現場内 改良分		
特定建設副産物																	
建設発生木材 (木材が廃棄物になったもの)																	
建設発生木材 (伐木材、除根材など)																	
建設汚泥																	
建設混合廃棄物																	
建設廃棄物																	
建設発生土																	
合計																	

記入の必要は有りません

**コード10**  
1.路盤材 2.裏込材  
3.埋戻し材 4.その他(具体的に記入)

**コード11**  
1.焼却 2.脱水  
3.天日乾燥 4.その他(具体的に記入)

**コード12**  
施工条件について  
1.A指定処分(発注時に指定されたもの)  
2.B指定処分(もしくは準指定処分)  
(発注時には指定されていないが、発注後に設計変更し指定処分とされたもの)  
3.自由処分

**コード13**(詳細は表-4参照のこと)  
再生資源利用促進(再生利用された場合)  
1.他の工事現場(内陸:公共、民間を含む)  
2.再資源化施設(土質改良プラントを含む)  
3.有償売却(工事請負会社が建設副産物を売却し、代金を得た場合)  
4.建設発生土ストックヤード(再利用工事が決まっている場合)  
5.海面埋立事業(海岸、海浜事業含む)

最終処分場・その他(処分された場合)  
6.最終処分場(海面処分場)  
7.最終処分場(内陸処分場)  
8.建設発生土ストックヤード(再利用工事未定)  
9.焼却施設(最終処分場へ持ち込むための中間処理施設)  
10.その他(具体的に記入)

注2:再生資源利用促進量について  
現場外搬出量のうち、搬出先の種類(コード13)が1.~5.の合計